

令和元年度 磐田市魅力産業支援会議 内容及び会議録

- 1 日 時 令和元年10月3日（木） 15時00分～17時00分
- 2 場 所 磐田市役所 西庁舎3階 301・302会議室
- 3 出席者 魅力産業支援会議委員 10名 事務局（経済観光課、産業政策課） 10名

4 内 容

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 出席者紹介
- (4) 議題1「磐田市産業振興計画」
 - ①事業評価の概要
 - ②事業評価の詳細
 - 基本目標1：まちなぎわいと交流を促進します！
 - 基本目標2：ものづくり産業の競争力を確保します！
 - 基本目標3：未来をひらく新たな産業を創出します！
 - 基本目標4：次代を見据えた人材育成・確保を支援します！
- 議題2「令和2年度企業実態調査」
 - ①実態調査の概要と調査項目
- (5) その他
- (6) 閉会

5 意見等

(1)「基本目標1：まちなぎわいと交流を促進します！」について

委 員 宿泊施設の代表者、体育協会、観光協会が集まり、スポーツ関係事業の実態調査を行うことで具体的な施策の検討が出来るのではないかと。

eバイクは、1バッテリーでの走行可能距離が40kmから100kmになった。静岡県はサイクリングガイドが他県に比べて多い。竜洋のオートキャンプ場は日本一の施設。宿泊、日帰りを問わずに利用促進を推奨したらどうか。

芝のグラウンド、卓球場、エコパ等のスポーツ施設がある。宿泊客の15%がスポーツ関係で3億2千万の経済効果がある等、具体的な数字を示す方が分かりやすい。

福田漁港で花火大会を実施。尺玉の打ち上げが可能。交通等の問題を改善することで今後の発展が見込める。

外国人観光客について。中国の方に加え、ベトナム、タイ、マレーシアの方も増えてきた。お迎えするにあたり多言語化が重要である。分かり易い翻訳を心掛けると共にQRコードの利用等も推進していく必要がある。

- 事務局 スポーツ関係の合宿について、宿泊施設の方と情報交換を行っていききたい。市営のスポーツ施設に関しては、市民の健康増進という目的がある。市民の利用を妨げない範囲で外部からの受け入れを考えたい。レンタサイクルについては、過去にチャレンジしたが成果が出なかった。再チャレンジについては、情報収集と分析を行い、判断をしたい。竜洋のキャンプ場利用者の8割が市外の方。市内滞留を促していきたい。福田漁港での花火大会は、今後の規模拡大に期待の持てる内容であった。アクセス等の課題を解決しながら進めていきたい。多言語化について対応に遅れがあることを認識している。スマートフォンでの対応等、進めていく必要がある。
- 委員 スマートフォンで市内の飲食店等を検索できるアプリがあると良い。2020オリンピック、パラリンピックの合宿誘致の進捗状況について教えていただきたい。
- 事務局 2020オリンピック、パラリンピックの合宿誘致について、エントリーしているが現時点で決定していない。
- 委員 スポーツに関しては、静岡産業大学がある。市の力も加えて大きく盛り上げていくのが良いと思う。産業振興フェアにおいても、静岡産業大学の小澤先生をお迎えしてスポーツ科学について講座を実施する。
- 委員 産業振興計画の進捗度を考えると、商業支援は難しいことが分かる。外国人、若者に向けて、スマートフォン等を利用したにぎわいづくりが重要になると考えている。
- 事務局 6年前からまちづくりゼミナール等、様々ことに取り組んでおり、現在は安定して一定の成果を出すに至っている。しかしながら、同じ内容では飽きられてしまうという問題もある。軽トラ市について、今後は商店主のみでなく住民の方が協力して地域で盛り上げる軽トラ市を目指していきたい。

(2) 「基本目標2：ものづくり産業の競争力を確保します！」について

- 委員 スポーツと健康について、例えば、軽トラ市等でテーマを設けて開催するなど、全体で取り組むことで新たな展開が期待できると思う。
- 委員 常葉大学のスポーツを行っている学生にGABAを摂取してもらい、効果を確認しており、良い結果が得られている。産業大学とも協力が出来ると思う。また、軽トラ市等でPRも可能だと思う。個々の事業をいかに結び付けて展開していくかが重要である。

(3) 「基本目標3：未来をひらく新たな産業を創出します！」について

- 委員 閉鎖型の植物工場について、どのような事業が行われているのか分かりづらい。例えば、立地の条件に工場で採れた野菜の販売を行う等の条件を設けて地域とのつながりを持つことが出来ないか。

現在の補助制度はハードルが高い。もう少し小さい規模でも補助の対象にしていただきたい。

事務局 植物工場の誘致については、輸送機器関係企業が多い中で市財政等の安定のための新産業という位置づけがある。小規模な植物工場の立地について、支援方法等を検討していく。

委員 次世代E T Cのサービス拡大で、磐田にも良い影響があると期待している。

(4)「基本目標4：次代を見据えた人材育成・確保を支援します！」について

委員 魅力ある職場づくりに取り組むことで、人材が増えて、その方々が退職せず、育成が進むという好循環を目指す。

少子高齢化で労働人口が減少する中、女性や高齢者等、多様な人材の活用に取り組む必要がある。

委員 磐田市にUターンで帰ってきてもらいたいという思いがある。

若い社員が中心となり、18歳の高校生が働きたいと思う会社案内を作成した。浜松市、磐田市の高校を訪問して就職担当の先生にPRを行っている。子供たちに企業の情報を届ける方法として、出来ることはたくさんある。市内企業への情報提供等、市の支援があると良い。

8名の女性が産休又は育休中であり、全員に復帰してほしいと考えている。12月復帰予定であった社員がいたが、保育園入園が出来ずに育児休暇を延長した。企業内保育所を設立することは難しいが子育ての支援は必要だと考えている。市の支援があると良い。

B C Pについて、策定はしてあったが平成30年の台風の影響による停電時に実際には活用できなかった。実際に活用できるB C Pを新たに作成中である。市からも情報提供があると良い。

委員 昨年度、市が主催した留学生との交流会に参加した。良い取り組みであったが、留学生との関わりがその場限りとなってしまったことが残念だった。次につながるような支援があると良い。専門知識のある高度人材について、積極的に雇用したいと考えている。

産業大学にも多くの留学生がいるとお伺いした。市内企業とのつながりが出来ることを期待している。

今年度から、留学生の就職希望者が増える予定であり国の方針でビザが取得しやすい状況もある。市とも協力して人材確保に注力していきたい。

日本語教育の推進に関する法律が施行された。中小企業で働く多くの外国人は、単純労働を行う作業員として認識されているがやる気とポテンシャルを持つ方も多くいる。多様性を認めて教育を行うことで能力を活かしていきたいと考えている。次回の産業振興計画に外国人の日本語教育を取り入れてほしい。

人口減少、少子高齢化のため、外国人を受け入れる必要がある。東北地方等では外国人に来てもらう方法に苦慮している。磐田市は外国人が集まりやす

い地域であり、ストロングポイントとして活かす必要がある。

企業立地について、当社の場合外国人とパートの主婦が従業員の8割を占めており、広い場所に移転をしたいがこの方々が通勤できる場所である必要がある。通勤圏内、例えばららぽーと磐田付近等で産業用地の開発を検討してほしい。

委員 小規模事業者支援法が改正され、その一部として事業継続力強化支援計画について記載がされた。市と商工会議所、商工会が協力して策定することとなる。

(5) 全体を通しての意見

委員 委員の皆様から貴重な意見をいただくことができた。

産業振興計画に基づいた施策について、具体的に評価する意見交換が少なかったことが残念に感じた。その理由として事務局からの提供される情報量が少ないことが挙げられる。例えば県の同様の会議では1施策にA41枚程度の説明資料があり、それを事前に読み込んでいる。会議の議題とする施策を絞り、それに対する情報量を厚くするのも一つの方法だと考える。活発な意見交換に向けて事務局で工夫してほしい。

委員 会議の時間が短いと感じた。十分な意見交換のためには、会議時間を長くすることが必要である。

(6) 企業実態調査について

委員 インターンシップの受け入れについて、学生という括りを日本人と留学生に分割して調査する方法も良いのではないか。

事務局 雇用及び人材確保に関する調査について、外国人雇用状況の項目を検討しており同様にインターンシップについても検討する。

企業実態調査の調査項目及び方法等は、決定次第、委員の皆様へ報告する。

委員 雇用している外国人の在留資格も調査項目に加えるのが良いと思う。

事務局 在留資格の把握は、企業と就職希望者のマッチングに有効だと考えられる。検討していきたい。

委員 様々なことに挑戦している企業がある。自由意見として、各企業の取組みについて聞きたい。

(7) 最後に

委員 本日は委員の皆様から様々な意見をいただいた。事務局は本日の会議内容を参考にし、予算要求や計画の変更に活かしていただきたい。